２００６年１０月

環境経営学会（Sustainable Management Forum）格付（第５回）

サステナブル経営格付２００６
参加企業募集

特定非営利活動法人　環境経営学会／環境経営格付機構

私ども特定非営利活動法人環境経営学会／環境経営格付機構は、企業・組織の経営に関心を寄せる研究者、専門家、企業人など産学一体となって、企業が持続可能な社会の構築に如何に貢献できるか、すべきか、求められているか、その経営理念、統治・経営は如何にあるべきかなどの研究に取組んでおります。その一環として、科学技術振興機構からの研究助成による３年間の経営格付手法の研究開発に参加し、全地球的な課題である環境保全、企業経営者が強い関心を寄せているＣＳＲの追求を軸として、企業経営の目的整合性を測ることを目指した経営評価法の研究に取組んで参りました。昨年度はその成果を基に、第１回サステナブル経営格付を実施いたしました。

ところで、ガイア論で著名な James Lovelock がこの２月「我々は最早 point of no return を超えた」と発言して話題を呼びましたが、多くの科学者達も認めているように、温暖化を始めとする地球環境問題の深刻さは日に日に深まっております。こうしたことから私達は、今こそ社会の公器としての企業が、人類社会を持続可能にするために大きな役割を果たす時期に来ているものと考えております。サステナブル経営格付２００６は、こうした考えの下に、持続可能な社会の構築に如何に企業活動が貢献しているかを、学会における環境経営、ＣＳＲ経営更にはサステナブル経営に係わる研究の成果を基に測る目的で実施するものです。

本年度は環境再生保全機構の地球環境基金の助成も得て、学会主宰の経営格付の第２回目である、サステナブル経営格付２００６を実施するべく、現在準備中であります。

各企業、組織体におかれましては、学会の掲げた趣旨にご賛同いただき、『サステナブル経営格付２００６』に、多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

このサステナブル経営格付については、参加企業にとって次のような効用を実現することを目的としております。

①　サステナブル経営格付　経営評価　調査票
②　サステナブル経営格付　経営評価　手引き
③　サステナブル経営研修会（出席者数の制限なし）
④　エビデンス確認・評価のためのヒアリング／経営トップインタビュを通じての情報交換
⑤　サステナブル経営格付　評価項目別格付評価：サステナブルマネジメント・ツリー
⑥　サステナブル経営格付　総合評価書
⑦　サステナブル経営のグッドプラクティスの顕彰
⑧　サステナブル経営格付結果の環境経営学会　大会での公表とマスコミへの広報

つきましては、今日の企業への社会からの期待に応え、環境経営、ＣＳＲ経営に取組まれておられる企業の皆様には、本学会の経営評価「サステナブル経営格付」に是非ご参加いただきますよう、ご案内申し上げる次第であります。詳細は下記のとおりであります。

特定非営利活動法人　環境経営学会　会長　　三田　和美
同　　副会長　環境経営格付機構　理事長　　木俣　信行

― 記 ―

１．環境経営学会の格付評価活動の概要

① **参加企業対象の経営研修会の開催：**持続可能な社会の構築に貢献するために、企業に求められている環境問題への取組み、社会からの信頼性の獲得に繋がる社会的責任への取組みの方向性、あり方に係わる経営評価システムについて、格付**参加企業を対象にした研修会**を開催

② **手引き・調査表の提供：**上記の経営評価システムに関する**経営評価の手引き（以下「手引き」）**と評価のための**経営評価調査票（以下「調査票」）**を、全ての格付参加企業に提供

③ **経営評価と格付：**

- 参加企業は調査票と**手引き**により**自己評価**する。その結果は環境経営学会に提出する
  提出された調査票を、学会の格付推進委員会審査部会で企業横断的に審査する
- 審査結果に基いて、第三者として公平な立場で**ボランタリによる格付評価委員**が**企業側のエビデンスを確認**する
- 格付推進委員会の評価結果については、**公平性・公正性を担保するために、判定委員会で審査**して決定する
- この経営評価結果を基に、**統合的な格付（ランキングではない）評価**を行う

④ **結果の公表**

- 参加各社の評価結果は**サステナブルマネジメント・ツリー、および総合評価書**を付す
- 併せて、各評価側面別の**グッドプラクティスを表彰・公表**する
- 格付参加企業の取組み状況について広く社会全体に周知するために、**メディアに公表する。**

２．**実施の概略スケジュール**（予定であり、途中については修正変更の可能性があります）

２００６年 １０月上旬	：サステナブル経営格付参加企業募集開始
１０月２６日、３０日	**：サステナブル経営格付２００６説明会**
１１月初旬	**：サステナブル経営格付開始**
１１月中旬	：参加企業の担当者を対象とした**経営研修会開催**
１２月末	**：調査票提出締め切り**
２００７年１月初旬	：調査票分析開始
１月下旬	：エビデンスに関するヒアリング調査／経営トップインタビュ開始
２月中旬	：調査終了、判定活動開始、
２月下旬	：判定結果の企業への通知／提訴委員会始動
３月中旬	**：格付評価結果確定**
３月下旬	：格付評価結果の報告会／マスコミ発表／活動終了

３．**２００６年「環境経営（サステナブルマネジメント）格付評価活動」実施体制について**

- 格付評価　催者：特定非営利活動法人環境経営学会（東京都港区三田３－１－３、MK ビル４階）
- 格付評価　実施担当：特定非営利活動法人環境経営学会 環境経営格付機構
- 格付評価活動事務局：環境経営格付機構事務局（03-5444-0270、smri@smri.jp ）

４．**格付評価活動の実費に関する企業負担のお願い**

格付評価活動については本年度も昨年度までと同様、学会格付研究委員会委員および学会会員を中心とした格付評価委員の**ボランタリ活動**として進めますが、通信費やインタビュー、ヒアリングのための旅費・交通費、企業研修会・格付評価委員の研修会経費、各種資料・格付結果報告書等の印刷費、事務作業人件費などの**活動の原資としての参加費**（初参加２０万円、継続参加１５万円）を申し受けます。

以上